

おお大勝利

平成 28 年度山東サッカー一部報第 3 号 (4 月 26 日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

週末2連勝を飾る

4 月 23 日 (土) 山形県リーグ 2 部 B ブロック (以下 Y2B と略記) 第一節酒田西高校戦がございました。すでにリーグ自体開幕しているのですが、複数の事情が重なり、山東にとっての第一節が 23 日にありました。相手は酒田西高校。昨年県新人で日大山形を破る戦いを僅かな時間ですが目にしているし、練習試合でも (酒西監督 E 藤先生の母校米沢興譲館時代の) 恩師 T 代先生率いる鶴岡南を撃破しており、かなり警戒しておりました。そして、酒田西にとっての Y2B 第一節 (4 月 16 日) では、山形南も撃破している。**かなり強力な攻撃力をほこる**との噂で持ち切り。警戒というか、恐怖を覚えつつ、初戦を迎えました。恐怖などという戦いの前の意気地がないようですが、「恐れるべきを恐れるは臆病にあらず¹」。場所は、米沢工業高校。

有難いお話ですが、当然のように、清野総監督 (サッカー部後援会名誉会長) と「我々が報道局長」後藤さんがいらっしゃる。そして、清野総監督と同期の工藤先輩も、昨年の大動脈破裂の大病を治癒させ、応援に駆け付けて下さる。このように、後輩の勝利を願う先輩方が数多くいるのが、山東の心強いところ。さて、清野総監督は来るなり「ここのグラウンドは相性悪く感じるね」と仰る。11 年前、私が赴任して直後の県総体、前監督晃先生が手塩にかけて育てた選手諸君が県総体を勝ち進み、決勝まで行くものの、決勝日大山形に敗れた²。その地が米工 G でした。その苦い思いは、簡単にはぬぐえない。その後、このグラウンドで勝つこともありましたが、ヨシタカの代の県総体一回戦でも痛恨の初戦敗退を喫した。きつい思い出がよみがえる、そんなグラウンドではある。よって、県リーグ初戦を迎えるに当たり、組み合わせ表を見ながら、「大丈夫かな」と不安でした。とはいえ、不安の中心は、相手チームの力量とかグラウンドのイメージではなく、やはり山東の選手に対するもの。昨年度、良いところなく負け続け、完全なスキル不足を露呈したのは皆様ご承知の通り。そう簡単にチームを信頼できるほど、昨年の傷は癒えていない。不安の中、ゲーム開始。

序盤、一進一退。やはり相手ツートップ、なかなかうまい。山東は序盤シンプルにロングボールを放り、相手陣地でゲームを進めようとする。これはボールが足につかない山東諸君の序盤戦術として必要なばかりか、**ボールが他に比べ弾み収めづらい米工 G 対策**でもある。しかし、攻撃力のある酒西を押し込み続けることができない。ボランチの 2 年カイトから 3 年 FW サンペーヘスルーパスが通りシュートまで持ち込むなど、惜しいチャンスを

¹ 『三国志』にて諸葛亮孔明を警戒する司馬仲達語るなど、中国古典に繰り返し出てくるセリフ。ちなみに私は、横山光輝先生の漫画でしか中国古典になじんでおりません、恥ずかしながら。

² そのときのキャプテンが、現在山形明正高校でサッカー部顧問をさせてもらっているコータロー先生です。

作り、少し山東に戦況が傾き始めたかと思われた前半中盤、2年GKハレルがやっちゃった。右足インサイドで味方CBへ蹴られたゴールキックを相手FWにインターセプトされ、そこからドリブル⇒パス⇒シュートで失点。**もちろんハレルのミスですが、狙っていたFWも流石**。でもハレル君、その前のゴールキックでも狙われていたんだから、少し警戒しとかなないと。まあ、ミスの主因は、警戒していなかったという精神面よりも、インサイドキックが内側に入る（右足で蹴られたボールが左にスライスする）技術的なものかもしれませんが。ともかく、一点ビハインド。しかし、この事態は想定範囲内。GK始めてまだ1年に満たない選手をスタメンで起用しており、心の準備はできている。そしてそのままハーフタイム。

山東が何となく攻める時間が多いように感じるが、良い形でシュートを放つシーンはそれほど作れていない。そんな前半だった。さあ、後半。一点ビハインドの山東が、点を取り返そうと押し込む時間が長い。山東攻勢。**女子高生だけでなく女子職員にも人気のシュンと「鋼の股間」ワタコーの3年生CB**が、相手ツートップをしっかりと抑え込んでいる。守備の安定を感じる。あとは点を取るだけ。**ユウトとサンペーの3年生FWも、裏へのボールをしっかりと確保し、攻撃を連続させている**。ただ、なかなか崩し切れていない。そんなもどかしい最中、後半の中盤、何度目かのCKを得る。攻めているが点が入らない展開で重要なのは、やはりセットプレー。「ワタコー、決めてこい」と、長身で相手から警戒だけされるが全く決める気配を感じないワタコーに楯を飛ばす。すると、もちろん？ワタコーではなく、**ポランチにて出場の2年生タイセーが頭で叩きつけ、貴重な同点ゴールを決める**。待ちに待ったセットプレーからの得点！そして、山東の攻勢が続く中、再びCKから、**またしてもタイセー**が今度は足で合わせ逆転！！そして、2点目から間をおかず、サンペーが相手の裏を取り抜け出し、決定打となる3点目を決める。**結局3対1で勝利**。

翌24日（日）は村山地区リーグ（以下Mリーグ）第二節天童高校戦。故障がちな選手を休ませつつ、**中山中出身1年生フトシを右SBで起用**。フトシは全くSBは素人ですが、いろいろな経験を積ませたい（特に守備の）。前日出番のなかった**3年生ポランチハヤト**も先発。1年生を起用するものの、Mリーグは3年生優先の方針。前日いらっしやった清野総監督と後藤報道局長、そして工藤先輩が再びいらっしやって下さる。場所は「我らがホーム」山形明正高校G。天童高校は近年厳しい戦いが続いているし、Y2所属の山東はカテゴリーを考えれば勝たなければならない試合。しかし、大量得点を狙いリーグ戦で有利になろう、などと甘い考えを持つことは厳禁。**一点差でもいいからとにかく勝つ、この心構えが重要**。だって、大量得点で勝っても最終節山本学園に負けたら一緒ですから。選手には過去山東が喫した「予想外の敗戦」の話をして、気を引き締めさせ、ピッチに送り出す。

すると、開始1分で、サンペーが相手GKの位置を見て超ロングシュート。それが見事決まり、早くも先制。**この得点、誰もまぐれとは思わない**。「サンペー（の判断、キックの正確さ）、流石」と思わせるものを日常的に示している。そしてその後も、早い段階で得点を続ける。特に、**右CKをニアサイドでユウトがダイビングヘッドにて決めたシュートは素晴らしかった**。良くコントロールされたヘディングでした。ピッチには交代出場にて、**3年生MFタクオとユータロー、3年生GKクロサカ、そして前日Yリーグよりも野球の東南定期戦を優先した（当たり前）応援団長兼FWフミキを投入**。前半終盤には**3年生DFマツキ**を投入。前半6対0。後半も、交代出場の**1年生FWキクチャンことリョウタロウ³**が得点

³ リョウタロウだと3年生のユウタロウとかぶるので、キクチャンに命名（命名者今野）。

するなど3得点し、結局9対0で圧勝。終わってみれば圧勝しなければいけない差があったな、と思わせるが、**そういう差をしっかりと得点差とし、結果として残すようになったチームの成長を感じる。それも、3年生がたくましい。**

さて、これで週末2連戦は2連勝を飾ることができました。まずはホッとしています。土曜日酒西戦に関しては、(日曜日と同じですが特に) **先発した3年生が頼りになった**。先発したのは、CBワタコーとシュン、FWサンペーとユウトの4名だけですが、攻守に効いている。学年が上だからではなく、チームの中心をちゃんと3年生が担っている(サッカーの実力にて)。**通常、1名も2年生が先発していれば、「来年楽しみだね」となるが、簡単にそう思えない。**逆に2年生は出場していても、「外せない人材」にまだなり切れていない。ぜひ発奮してもらいたい。

知人に2連勝してうれしいと知らせると、「今年調子いいね」との返信。ん～、去年はY1に所属していたため全く勝てなかったし、Mリーグにも出場する必要がなく、カテゴリーの下チームと対戦することもなかった⁴。勝ちを知らずに1年を過ごした、という感じだった。今年Y2に降格したがために、シーズン始まって早くも公式戦3勝。去年は年間の公式戦勝利数4だったため、すでに去年の数字に到達せんとしている。ただ、**今年のチームと去年のチームと比べて今年のチームの方が強いのか、と考えると、首を傾げざるを得ない。**「勝って兜の緒を締めよ」の見地から言っている訳ではなく、「面白いチームになってきた」とワクワクするほどの手応えがあるわけではないのです。だから、去年と比べ調子が良いのかどうなのか、考えると、即答できないところがある。**でも、最終的には、「去年のチームより今年のチームは良かった」と言いたい。**そのように、残り少ない期間でも成長を見せてほしい。

応援ありがとうございました。今週末は、下記のように何と！！ 土曜日Mリーグで山本学園と対戦し、日曜日Y2Bで山本学園と対戦。そう、**対山本2連戦!!!** いや～、日程を作っている段階では両大会を別々に発想しており、気付きませんでした。日程を離せばよかったと思わないでもないですが、決まったものはしょうがない。**まず土曜日必勝を期します。**ここで勝てば県総体の切符ゲット。そして、5月14日(土)15日(日)の地区総体にて決勝トーナメントで戦うことができる。負ければ、県総体の切符は地区総体にて勝つまでお預け。やはりすぐ決めたい。日曜日勝ちがほしいのは当たり前ですが、まずは土曜日に集中すべく考えないようにします。

ということで、今週末も応援よろしく申し上げます。

4月30日(土)Mリーグ第三節 VS 山本学園 11:05～ @上山明新館

5月1日(日)Y2B第二節 VS 山本学園 16:00～ @白鷹町東陽の里G

⁴ Mリーグは県総体への出場をかけた地区予選に当たるわけですが、山形県では、Y1以上に所属の上位8チームに県総体へのシード権を与えています(Y1以上ということは、東北リーグに当たるプリンスリーグ東北や全国リーグに当たるプレミアリーグも想定しての表現です)。ということで、去年はY1所属のためMリーグに参加しませんでした。ただし、Y1所属だとMリーグに出なくともよい、という訳では必ずしもありません。たとえば、プリンスリーグに複数の高校が所属することになれば、Y1以上の上位8チームにY1下位のチームが漏れる事態となります。そうなれば、Y1所属でMリーグに出場する高校が出てくることでしょう(そのY1所属の下位チームが村山地区の高校であれば)。

新入部員は11名！マネなしGKなし

4月21日（木）部登録集会があり、**1年生11名の入部**が決まりました。人数は、最低ラインといったところ。2年生が選手12名なので、1・2年合わせると23名。ん～、これは新チームになったとき、2チーム作るにギリギリということ。またまた、長期休暇中の遠征ではOBの足を借りなければならない。そして、**昨年引き続き、GK経験者がいない！** 加えて、**新入部員にマネージャーがいない！！** これは厳しい。マネージャーが果たす役割が大きい部だけに、その仕事の継承が途切れることは恐れていた事態。1年生は（もちろん2・3年生もできれば）引き続き勧誘に努めなければならない。

そして4月29日（金）には下記の要領にて保護者会主催の総体激励会・新入部員歓迎会が開かれる。できれば、「県総体激励会」にしたかったのですが、まだ決まっていないので、翌日の必勝祈願も兼ねて盛大に会を催すこととなりました（もちろん選手は翌日のパフォーマンスに響かない程度に飲食・歓談せよ、気は緩めるな⇒顧問も気を引き締めつつ飲みますから！⇒ただし限界はある）。保護者会の皆さま、ありがとうございます。そして、よろしくお願ひします。忘れないうちに、昨年秋の激励会後の部報を引用しておきます。

最後に一年生に一言。一発芸への熱意が全く欠けている。 昨年の一年生（現二年生）は数々の出し物があり、素晴らしかった。来年の歓迎会にて、新入部員だけでなく、二年生（現一年生）もしっかり宴会芸を出すように。**保護者の方ばかり元気な学年になってはだめだ。**

新入部員が何かしら（の芸を）見せることは当然として、春の場では二年生が頑張らなければならない。**分かってんだろうな、新二年生よ。**

4月29日（金）保護者会総会 17：30～

総体激励会・新入部員歓迎会 18：00～ @ホテルメトロポリタン山形